

しおがま 市議会だより

令和5年 9月定例会号

- 議案審議の概要 P2
常任委員長報告
- 令和4年度決算審査 P3
- 討論 P4
- 施政方針に対する質問 P5～9
- 議案等賛否一覧表など P10

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel 022(355)6793 Dec.2023 (令和5年12月)
ホームページアドレス <https://www.city.shiogama.miyagi.jp/life/5/36/>



【塩竈市議会ホームページ】
市議会の情報は市議会HPで
ご覧いただけます。



塩釜魚市場どっと祭

定例会会議日程

本会議	9月29日	会期の決定、諸般の報告、議案説明、総括質疑、議案付託、人事案件審議及び採決
	10月 3日	施政方針に対する質問
	10月 4日	施政方針に対する質問
	10月 5日	令和4年度決算特別委員会
	10月 6日	総務教育常任委員会
	10月10日	民生常任委員会
	10月11日	産業建設常任委員会
	10月12日	令和4年度決算特別委員会
	10月13日	令和4年度決算特別委員会
	10月16日	令和4年度決算特別委員会
委員会	10月17日	議会運営委員会
	10月18日	各常任委員会委員長報告、議案審議、討論及び採決、令和4年度決算特別委員会委員長報告、議案審議、討論及び採決
本会議		

令和5年9月定例会は、9月29日から10月18日までの20日間の会期で開催しました。

本会議初日では、市長より提出議案の説明を受け、総括質疑の後、令和4年度決算については決算特別委員会に、その他の議案については所管の常任委員会へ付託しました。また、人事案件2件が上程され、即日審議の上、同意しました。

各常任委員会は3日間開催し、付託した議案の審査を行いました。決算特別委員会は4日間開催し、付託した決算の審査を行いました。

本会議2日目と3日目は、8名の議員が施政方針に対する質問を行い、市長の見解をいただきました。

最終日は、各常任委員会委員長から審査結果の報告を受け、議案第52号の修正案は否決し原案を可決、その他議案15件を可決しました。また、決算特別委員会委員長から審査結果の報告を受け、決算及び関連議案4件を可決及び認定し、閉会しました。

(議案の件名と審議結果は10ページ)

定例会のあらまし

7億224万4千円の
増額補正予算を可決

9月定例会における一般・特別・企業会計の補正予算は7億224万4千円で、補正後の予算総額は503億5805万5千円となりました。主な事業は次の通りです。

一般会計

〔補正額〕

5億7581万3千円

1 重点課題解決関連事業

〔補正額〕

1億3389万4千円

○清掃工場管理事業費

(補正額1億239万4千円)

○新清掃工場整備基本計画の策定や生活環境への影響調査

など

2 災害関連事業

〔補正額〕

1億1190万9千円

○漁港施設災害復旧費

(補正額9700万円)

○地震で被災した寒風沢漁港、野々島漁港の復旧費用の増額

など

3 長期総合計画実現のため

〔補正額〕

2億2951万7千円

○みなと広場・シオーモの小径再整備事業

(補正額2245万円)

○マリングレート塩釜西側の敷地の拡張再整備

など

○国民健康保険事業 (補正額294万3千円)
○介護保険事業 (補正額785万1千円)
○後期高齢者医療事業 (補正額867万9千円)

特別会計

〔補正額〕

1947万3千円

○国立健康保険事業

(補正額294万3千円)

○介護保険事業

(補正額785万1千円)

○後期高齢者医療事業

(補正額867万9千円)

企業会計

〔補正額〕

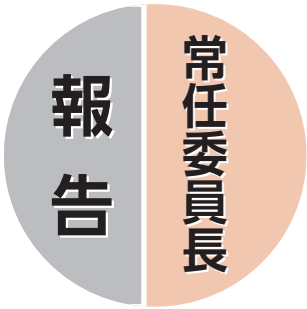
1億695万8千円

○市立病院事業

(補正額1億695万8千円)

○患者の療養環境改善費や感染対策医療機器の整備費

など



委員長報告の要旨は次のとおりです。



総務教育常任委員会

委員長 浅野 敏江

○議案第51号、第64号及び第65号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第52号は、バスの今後の在り方について十分な議論がされておらず、更なる検討が必要などの理由でしおナビ100円バス・NEWしおナビ100円バス事業において、地域公共交通会議での合意に基づき、乗車運賃を150円に改定するにあたり、必要な経費538万5千円などを削減する修正案が委員から提出され、可決しました。

〔一般会計補正予算要望意見〕
○福祉的な側面や、バス利用者の買い物行動による経済循環についても考慮する必要がある。



民生常任委員会

委員長 菅原 善幸

○議案第50号、第52号、第59号、第61号、第63号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

とおり可決すべきものと決しました。

〔塩電市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の要望意見〕

○出産する被保険者に対する国民健康保険税の免除措置は、子育て世帯の負担軽減につながるため、免除対象者の取りこぼしがないようにされたい。

また、制度について早期の周知に努められたい。

産業建設常任委員会
委員長 土見 大介



○議案第52号、第60号、第62号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

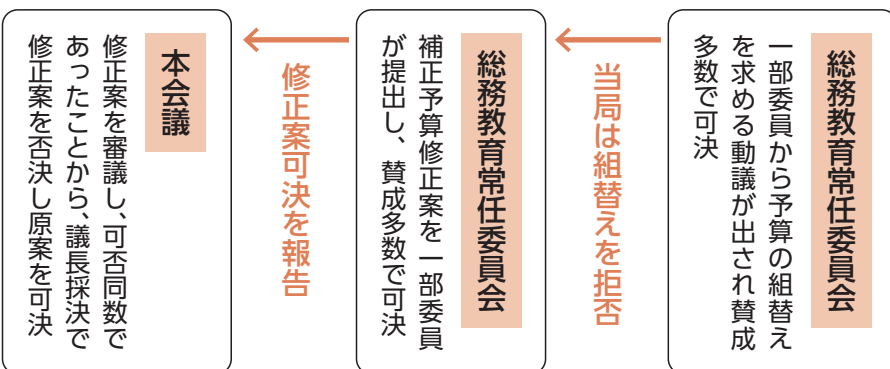
〔一般会計補正予算要望意見〕
○みなと広場・シオーモの小径再整備事業は、交通量が多い道路に接しているため十分な安全対策をされたい。また、整備後に広く活用を促す周知を行うなどの取組をし利用促進を図られたい。

○火災で被害を受けた方への支援拡充は、被災者に緊急入居先とし市営住宅を速やかに提供するものだが、退去時の費用負担については、被災者により被害程度が異なるため、

生活状況に応じ寄り添った支援となるよう努められたい。

議案第52号の審議経過

議案第52号一般会計補正予算案については、100円バスの運賃改定に伴う各種費用が計上され、総務教育常任委員会及び本会議において次の流れで採決などが行われました。



総務教育常任委員会

一部委員から予算の組替えを求める動議が出され賛成多数で可決

当局は組替えを拒否

総務教育常任委員会

補正予算修正案を一部委員が提出し、賛成多数で可決

修正案可決を報告

本会議

修正案を審議し、可決同数であったことから、議長採決で修正案を可決し原案を可決

令和4年度

一般・特別・企業会計決算を認定

令和4年度一般・特別・企業会計決算審査のために設置した「令和4年度決算特別委員会」は10月5日に開会され、初日に正副委員長互選を行い、委員長に今野恭一委員、副委員長に鈴木新一委員を選出しました。同委員会は4日間にわたる審査の結果、いずれも認定すべきものと決しました。本会議4日目に決算特別委員会委員長の報告を受け、採決の結果、各会計の決算が認定されました。監査委員報告及び決算特別委員会委員長報告は次のとおりです。

監査委員報告概要

各会計とも適正と認める

一般会計、各特別会計及び各企業会計の歳入歳出決算の審査の結果、決算書などがいずれも法令に準拠して作成されており、諸帳簿・電算財務会計と照合し、計数も正確である。

また、各会計の予算執行も良好なもの認められた。一般会計の実質収支は黒字となったが、実質単年度収支は財政調整基金（市の貯金）からの取崩しを行っており赤字である。物価高騰など厳しい状況が続くが、財源の有効活用などを図り住民福祉の向上や地元経済

の活性化に向けてさらに努力を続けられたい。

下水道事業会計は、黒字であるが、引き続き安定した事業運営に努められたい。

病院事業会計は、新型コロナウイルスの院内感染発生にもかかわらず、改革プランなど経営努力により黒字の大幅な増となった。引き続き地域に必要とされる医療を継続するため努力されたい。

水道事業会計は、給水人口の減により純利益の減となった。健全経営を維持し低廉な水の安定供給に努力されたい。

決算特別委員会 委員長報告

▼一般会計

◎基金の状況は、他自治体の基金運用指針なども参考にし、「自分で稼ぐ意識」を持ち自主財源を生み出す方法をさらに検討されたい。

◎町内会等コミュニティ強化支援事業は、利用促進の周知に努め今後も継続して実施されたい。また、環境美化への需要が高いことから、町内会などの要望に沿った適切な支援となるよう努められたい。

◎市内循環バス補助事業及びNEWしおナビ100円バス運行事業は、利用者数の減少や燃料高騰の影響などで市の財政負担が増加しているが、広告収入など様々な収入確保策に取り組まされたい。また、市民アンケートや地域ごとの乗降者数を詳しく分析することによって利便性の向上を図られたい。

また、運賃や運行の在り方は、議会との活発な意見交換や議論により検討されるべきものであり、議会に対して十分な情報提供や丁寧な説明を行われたい。

◎予防接種事業における本市の子宮頸がんワクチンの接種率は、接種率の向上に努力されたい。また、キャッチアップ接種は、実施期限が令和7年3月31日までとなるため周知に努められたい。

◎旅客ターミナル管理運営事業は、マリナーゲート塩釜内の新規出店者支援策として、家賃の見直しや居抜き物件として使用できる区画を、居抜き物件専門サイトに掲載するなど、空き店舗解消策を検討するとともに、施設を適切に維持管理されたい。

◎市内小中学校の不登校児童生徒数と心のケアは、学校に登校できない児童生徒には情報機器を活用するなど、一人一人の実情に合わせた学びの機会の提供にこれからも努められたい。また、不登校生徒の保護者より進学・就職などの進路相談があった際には、不安を解消できるような寄り添った対応をされたい。

▼特別会計

◎交通事業特別会計は、観光客などの利用増加策に取組み増収につなげられたい。また、乗船時間に付加価値を付けるような取組を検討されたい。

◎国民健康保険事業特別会計

は、基金の取崩しを行いながらも安定的に運営され評価する。今後は市民負担の軽減についても努力されたい。

◎魚市場事業特別会計は、会議室など漁業関係者しか利用できない印象がある。市民が広く利用できることを周知し施設稼働率を上げ、施設利用料の増収に努められたい。

▼企業会計

◎下水道事業会計は、下水道使用料が県内他市町村と比較して高水準であるため市民の負担軽減に努められたい。また、下水道使用料の徴収対象となる雨水や地下水を減らす有収率（使用料徴収の対象となる下水の割合）の向上に努められたい。



令和4年度決算特別委員会委員長報告

討 論

10月18日の本会議において
討論を行いました。

その概要は次のとおりです。

議案第51号、第64号

反対討論 本市の社会教育施設は司書資格を有する会計年度任用職員が知識や文化を正確に情報発信していくという役割を果たしており、これらは専門性と継続性が求められる。指定管理は、指定管理料に収入を制限される中で利益を得なければならず、人件費を削減する収入確保策により

継続雇用の打ち切りや労働条件の悪化などが懸念される。また、指定管理は5年間であり、指定管理者が交代すれば専門性と継続性が失われる。これらの問題は日本図書館協会なども指摘している。

以上のことから反対する。

議案第52号に対する修正案

反対討論 修正案は1000円バスの運賃値上げに関連する事業の予算538万円を削除するものだが、議決されれば時刻表などの表記変更や両替機の設置をせずに運賃1500円で運行することになりかねない。運賃改定は塩竈市地域

公共交通会議での決定事項であり、議会による反対表明は法に基づいた組織の決定に対する介入である。1000円バス事業の現状は広報などで折に触れ説明し、燃料費などの運行経費の高騰により経営改善は困難であり、乗客数はコロナ禍により減少したままである。運賃を改定しなければ多額の市税をバス事業に投入することになり、市の他事業への影響や経費圧縮のために減便などのバス事業縮小も検討せざるを得ない。運行経費については、利用者の負担に比べ市の負担割合が増加しており、受益者負担の観点から

も現行運賃の維持は適切とはいえない。運賃値上げは、バス利用者が減少し福祉や地域経済に影響を及ぼすとの指摘は、改定しない根拠とならず、福祉や地域経済への施策は別途議論すべきである。

以上のことから反対する。

認定第1号

反対討論 健康保険証はマイナンバーカードとの一体化により廃止予定だが、マイナンバーのひも付け誤りなどの影響から廃止撤回が叫ばれている。また、一体化はマイナンバーカード取得を事実上強制させるものである。宮城県地

方税滞納整理機構は、生活実態に適さない徴収をしており滞納者に寄り添い対応すべきである。行財政改革は、減員を前提とした配置計画を見直し、業務の多忙化などを踏まえ実態に即して検証すべきである。アウトソーシングの推進は、人件費や事業費を抑制する採算性の追求により、行政サービスなどの低下が危ぶまれる。短期被保険者証の発行や介護保険制度改正による負担増、後期高齢者医療の窓口負担見直しなどが、医療費抑制などにつながりかねない。

以上のことから反対する。

議案第51号、第64号

賛成討論 公民館の図書室を貸館対象とすることで、積極的な利活用を推進する動きが生まれ、企画努力や集客努力により発想力や創作性が磨かれ、収益力だけでなく運営の幅も広がり相乗効果が発揮される。指定管理者は収益向上のため、あらゆる取組を行うことから新規利用者の獲得も期待できる。また、アウトソーシングにより専門性の高い運営を行うことで、業務効率化

や経費削減に伴う安定的な財政管理が期待できる。

以上のことから賛成する。

議案第52号に対する修正案

賛成討論 塩竈市地域公共交通会議では、利用者の減少や運行経費の増加に伴い、収益改善のための運賃値上げなど直接的な収入増加策のみが検討されている。住民の構成や行き先のニーズなどの変化に、現状の路線や運行ダイヤは適応しておらず、利用価値の低下を改善せずに運賃改定し収

支改善を図ることが地域公共交通として適切なのか。運賃値上げは利用者が減少し収支の大きな改善は見込めない。まずは利用いただけのバス事業を検討すべきである。

議会としては、地域公共交通の料金改定という重要な事案の議論が全くされておらず、賛否の判断が困難である。本定例会で結論付けず、引き続き議論を尽くし市民に説明できる結論に導くべきである。

公共交通など公費負担を伴う事業は、効率性のほか福祉

の側面からの考察が欠かせず、料金改定による利用者の減少がもたらす社会への影響を、改定前に検討すべきである。

以上のことから賛成する。

認定第1号

賛成討論 令和4年度一般会計は実質収支約14億2千万円の赤字であり、良好な決算内容である。反対理由にあるマイナンバーカードは、行政サービスのデジタル化に向けた重要な社会基盤であり、利便性向上に資するから迅速に

進めるべきである。宮城県地方税滞納整理機構への加入は、収納率向上に貢献しており、税収減少による市民サービスを低下させないためにも脱退すべきではない。行財政改革については、市民の視点に立ったきめ細かで持続可能な行政経営を目指し、第5次行財政改革推進計画及び定員管理計画に基づいた取組を継続すべきである。各特別会計もコロナ禍の影響がありながら適切に運営された。

以上のことから賛成する。



施政方針に対する質問

施政方針に対する質問は、10月3日、4日の2日間に8人の議員が行いました。ここでは質問の中から一部取り上げて、その要旨を掲載しています。なお、各議員が行ったその他の質問項目も掲載しています。



日本共産党
塩釜市議団
伊勢由典

仲卸市場は

議員 施政方針に「塩釜水産物仲卸市場は4単協を一元化し、若手による空き盤台活用、新たな客層とイベント開催、新たな魅力創出、集客力向上支援」とある。同組合が開催した「市場deマルシェ」は、クーポンの発行や情報の発信により、近隣市町の若い世代など3千5百人が来場したと聞いている。そこで、次の2点を伺う。

- ① 4単協一元化と集客力向上と今後の課題を伺う。
 - ② 「同施設の整備のため、同組合執行部で検討組織を立ち上げた」と伺ったが、現在の組合員数と今後の組合員数、同施設の在り方について伺う。
- 産業建設部長** ① 昨年6月に組織が一元化され、若手の皆様が精力的に新たな魅力の創出、顧客獲得に向けイベント開催などに取り組んでいる。また週末の観光客などの受入

れ体制強化のため、施設一部のリノベーションを進めており、今後は営業時間の延長など検討していくと伺っている。

② 現在の組合員数は81店舗。今後、減少していくことも視野に入れ、組合では施設の規模感などを検討していくのではないかと市は考えている。

子ども子育て支援の充実は

議員 施政方針に「本市の人口は平成7年以降減少の一途をたどっており対策が急務」とある。そこで、子ども子育て支援について伺う。

- ① 「こども家庭センター」とは、どのような組織か伺う。
 - ② 10月より、子ども医療費助成の所得制限は撤廃されたが、今後の子ども支援の施策について伺う。
 - ③ 子どもが遊ぶ身近な公園を旨し「公園施設長寿命化計画」を策定したが国への働きかけと財源措置について伺う。
- 福祉子ども未来部長** ① 母子保健関係の分野と、家庭児童相談などの児童福祉分野の支援機能を統合し一体的な組織として運営してまいりたい。

② 現在、出産・子育て応援給付金など様々な事業を実施している。国より、こども未来戦略の方針が出され具体的な各種事業が示されたので、どのような手当や事業のニーズが高いのかを把握し、今後検討してまいりたい。

医療福祉の強化は



日本共産党
塩釜市議団
辻畑めぐみ

議員 ① 高齢者の一人暮らしや夫婦二人暮らしの世帯数は、② 施政方針で「高齢者世帯増加の中、生活に関する相談が一体的に行える体制の整備と地域全体で支えていく仕組みづくりが求められている」とあるが、どこに相談したらいいか高齢者にとってはハードルが高い。どのような窓口があり、周知はされているのか。

- ③ 地域全体で支えていく仕組みづくりとして、現在どのような支援があり、どれくらい周知され利用されているか。
 - ④ 孤独化の防止や地域コミュニティの再生につなげていくための改善策は。
- 市長** ④ コロナ禍後の人的交流を取り戻す工夫を図りたい。
- 福祉子ども未来部長** ① 高齢者の一人暮らし世帯は4527世帯、二人暮らし世帯は3269世帯である。② 地域包括支援センターが基本的な窓



使用禁止となっている公園の遊具

その他の質問項目

- ・教育力の向上は
- ・歴史・文化の継承は
- ・空家等対策計画は

など

口であるほか、壺番館窓口、各地区の民生委員が窓口となっている。また、周知は広報紙などで行っている。
③高齢者あんしん見守り支援事業など様々な事業を実施しているが、十分に知られていない事業もあり、今後も周知に努めてまいりたい。



認知症予防講座（地域包括支援センター）

地域課題への取組は

議員 ①町内会の活動状況は。また、町内会から、どの窓口によどのような要望があるのか。②人口減少と高齢化、さらに入会しない世帯が増え、担

手不足などの問題があるが、現状をどのように捉え対策を考えているのか。

③民生委員・児童委員には、様々な役割があるが、具体的な仕事は。また、研修はあるが難しく未消化で終わると聞くが改善策は。今後の連携をどのように考えているのか。

市民生活部長

①主な活動内容は、ごみ集積所の管理や防犯活動などがある。各町内会より様々な相談を市民課協働推進室が受けている。②転入者へのチラシ配布などで理解促進を図っている。入会する世代が増加するよう今後も継続して取り組んでまいりたい。

福祉子ども未来部長

③民生委員は、地域の実情の調査把握、生活上の相談への対応。有益な情報の提供や助言を行っている。問題が多岐にわたり研修で十分網羅できない点もあるが、地域の最も身近な相談役として、今後も相談者の課題解決を図るため地域と行政のつなぎ役として連携を図ってまいりたい。

その他の質問項目

- ・教育力の向上は
- ・子ども子育て支援の充実は
- ・市役所の改革は など



市民クラブ
志子田吉晃

医療福祉の強化は

議員

①医療福祉の強化のうち「見守り支援」の展開について、具体的なサービス内容と、生活相談先など支援の展開や内容を伺う。

②本市の平均寿命が県内平均より短いので、健康寿命の延伸に向けた取組について、具体策や食と健康への情報発信について伺う。

福祉子ども未来部長

①支援

	男		女	
	順位	平均寿命	順位	平均寿命
仙台市泉区	1	83.2	1	88.4
利府町	3	82.7	7	87.8
多賀城市	10	81.8	12	87.5
県平均		81.7		87.5
塩竈市	32	81.2	27	87.2

順位は県内39市区町村中の順位です

令和2年市区町村別生命表（厚生労働省）より

市役所の改革は

内容は、一人暮らしの高齢者を対象とした高齢者あんしん見守り支援事業、配食サービス、はいかい高齢者SOSネットワークシステム、認知症高齢者等見守りQRコードシール活用事業、災害発生時の支援が必要な高齢者を対象とした避難行動要支援者登録制度、個別避難計画の作成などを行っている。相談窓口は主に各担当課であるが、地域包括支援センターで相談しても、担当課に相談内容が届く体制である。

②特定健診、各種がん検診の中で生活習慣病予防事業を行うなど、生活習慣病の早期発見と早期治療につなげる取組を行っている。また、高齢者へは、フレイル予防の事業を行い運動教室などの場を通して情報提供に努めている。

どのようなイメージなのかを伺う。
②市からの補助金が適切に執行されているかの確認を目的に、外部監査制度の導入を検討されているが、これまでの検討状況は。また、契約手続適正化を促進する入札監視委員会についても伺う。

総務部長

①施策を展開する際に、今の社会情勢に合っている施策なのか確認し、それを実施するにあたり、方法も従来どおりの方法でいいのかなど検証する視点を常に持ちながら施策を展開していく内容である。

②外部監査制度は、地方自治法に基づく制度であり、弁護士や公認会計士などの専門家と外部監査契約を締結し監査を行うもので、先進事例を参考にしながら、今後制度化してまいりたい。入札監視委員会は、競争入札や随意契約などが適切に行われているかを審議し改善が必要な場合は、市長に対し意見の具申などを行う組織である。

その他の質問項目

- ・みなとの再生は
- ・市制施行100周年に向けた取組は など



塩釜を元気にする会
柏恵美子

医療福祉の強化は

議員 ①健康寿命の延伸に向けた取組について、今や人生百年時代と言われているが、介護を必要とする高齢者が増加すれば社会保障費の負担増大にもつながる。負担軽減のためには健康寿命の延伸が必要である。そのためには「お口は健康の元」と言われるように健康な歯を保つことが大切である。

1989年から「80歳になっても自分の歯を20本以上保つ」という「8020運動」が始まった。健康な歯を維持している高齢者の方は認知機能を失わず、寝たきりにもなりにくく健康寿命の延伸につながっているというデータもある。健康寿命の延伸にもつながる「8020運動」の推進に向け、全世代向けの歯科検診の環境を整える必要があると考えるが当局の考えを伺う。

②市立病院は昭和20年に開設され、今日まで民間病院・医

療施設と連携し、市民や近隣住民の身体的健康のみならず、精神的・社会的に健康な生活を維持する使命を果たしてきている。

近年、老朽化が激しくそれに伴った対応が必要というところで、今後の在り方について具体的な検討を深めるといふ方針が示されている。私は移転・新築を含めた構想が必要であると思うが当局の考えを伺う。



施設更新が急がれる塩竈市立病院

通して市民に対し丁寧な説明していききたい。国民健康保険被保険者を対象にした歯周病検診の受診率が低い状況である。高齢者に対してはフレイルチェックの中で口腔関係も

行っているところである。また、公立保育所の口腔ケアを通して、小さいころから歯科検診の重要性を周知し、議員ご指摘の通り80歳で20本以上の歯を維持できるようにしていければと考えている。

市立病院事務部長 ②市立病院は一番古い建物で築64年が経過し、全ての建物で法定耐用年数の39年を経過している。現在、国のガイドラインに基づいて今後の4年間の指針となる経営強化プランを策定しているところであるが、審議会の委員から、市立病院が地域において果たすべき役割や機能を全うするには、施設の建て替えが必要な時期に来ているのではないかとのご意見を頂いており、施設の老朽化には早急に対応すべきものと考えている。

その他の質問項目

- ・ 教育力の向上は
- ・ 子ども子育て支援の充実は
- ・ 地域課題への取組は など



塩釜を元気にする会
土見大介

産業の再生と創生は

議員 神社や市場、浦戸諸島など、塩竈は観光資源の豊富な土地である。しかしながら塩竈において観光はまだ産業と呼べるほどの経済効果を生み出していない。観光業は裾野が非常に広く、水産業・水産加工業との相乗効果も期待できるほか、地域教育や介護予防、子育て支援など産業以外の分野への好影響も期待で



しおがまさま神々の月灯りの幻想的な風景

きる。基幹産業である水産業・水産加工業が苦戦を強いられる中、観光業を水産業・水産加工業と比肩する塩竈の大産業とすべく積極的な対策を試みてはどうか。

市長 円安の影響により、県内でも特に原料の輸入が多い本市の水産業は厳しい状況である。観光業は裾野が広い産業であることが言われている。既存の産業と観光業が協力して新たなものを作り出すこと、特に市の組織の横軸をもっと大切にすると、もっと違う視点から物が見えてくるだろうと感じていて、改善するため努力していきたい。観光業が塩竈市を変えていくための一つの大きな起爆剤になると理解しており、様々なアイデアの考案や工夫ができるよう取組を強化していきたい。

医療福祉の強化は

議員 社会保障費が年々急増し市の財政を圧迫している。本市でも様々な福祉事業が展開されているが、予防医療や介護予防に関する取組は少なく、実施されているもの

施政方針に対する質問



公明党
菅原善幸

7つの
重点課題は

も効果は限定的である。今後
も安定的に社会保障サービ
スを提供するためには、自助
や共助を軸とした予防事業
に力を入れていき、社会保障
費の増大を抑制する必要が
ある。他自治体では、「介護予
防リーダー」のように、近隣
住民を巻き込み主体的に予
防事業に取り組める人財の
育成に力を入れているが、市
の考えを伺う。

福祉子ども未来部長

地域で活躍されている、ダンベル
サークルや脳トレ教室といっ
た健康づくり団体に対しては、
金銭的な支援を行うだけでは
なく、各団体で中心となって
活動いただけるリーダー役の
方が必要である。リーダーの
育成はもちろんのことである
が、市に協力をいただいてい
る健康推進員の育成などを併
せて行いながら、地域のサー
クルやそのリーダー同士の交
流や連携を図り、お互い地域
の中で活動できる基盤となり
得る支援を、行政として行っ
ていければと考えている。

その他の質問項目

- ・教育力の向上は
 - ・子ども子育て支援の充実は
 - ・浦戸振興は
- など

議員 施政方針の序では、市

長就任当初に示した施策の方
向性を継承し、新たに顕在化
した7つの重点課題である庁
舎整備、市立病院の在り方、
学校再編、ごみ処理事業、門
前町再生、産業創出再生、浦
戸の再生を加えた10本の柱を
中心に市政に取り組むとされ
ている。全て重要な課題と認
識しているが、公共施設の老
朽化について市役所庁舎や市
立病院、ごみ処理施設を先送
りにできない課題としており、
どのように検討するのか市長
の考えを伺う。

市長 庁舎整備や市立病院の

在り方、ごみ処理施設につい
ては主にハード整備の検討を
行うものであるが、老朽化に
より施設の機能が停止した際
に市民生活へ著しい影響を及
ぼす恐れがあることや現地再
建が可能であることから、ご
み処理施設を最優先に取り組

んでまいりたい。庁舎や市立
病院のほか、学校再編や仙台
市との共同浄水場整備など財
政負担を伴う重要な課題につ
いては、決して先送りにせず、
長期的な視点で検討を行い、
地域を回って市民に直接説明
し、ご意見を伺いながら道筋
を示してまいりたい。

子ども子育て
支援の充実は

議員 総合公園である伊保石

公園については位置付けを明
確にすべきと考えるが、市民
が集う憩いの場としての公園
とするのか、それともアスレ
チック遊具などによりアク
ティブに利用できる施設とす
るのか、目指す方向性につい
てその位置付けを伺う。また、
伊保石公園に授産施設などの
誘致を検討しているか、伺い、
整備方針に相反すると考える
がいかがか。

産業建設部長 伊保石公園は

広大な敷地を有し、再整備基
本計画を策定中であるが、に
ぎわいを創出する区域や自然
を楽しむ区域など、個々に特
色ある区画分けを検討してい
る。様々な利用目的に対応す

るため、伊保石公園に対する
要望を集約し区域ごとの基本
理念づくりを行い、幅広い市
民層のニーズに伝えてまいり
たい。再整備の基本方針は、
「誰もが、いつでも、自由に
憩える公園」としており、幅
広い年代の方や障がい者の方
など様々な方が楽しめる公園
としたい。整備目的に相反す
ることのないよう土地の区画
分けや施設配置などを工夫し、
基本方針の実現に向けて取り
組んでまいりたい。



伊保石公園

その他の質問項目

- ・教育力の向上は
 - ・産業の再生と創生は
 - ・みなとの再生は
- など



公明党
浅野敏江

不登校の問題は

議員 現在、少子化や社会構

造の変化などで子どもを取り
巻く状況は複雑化し、7割の
家庭が子育てに悩みや不安を
抱える。不登校問題について
は、子どもの安心と多様な学
びを確保する法律である教育
機会確保法を分かりやすいパ
ンフレットなどで各家庭に伝
えきれているか伺う。また、
不登校で悩む親や子どもを孤
立させないため、親同士の懇
談会などを開催し横の連携を
図ってはいかがか。フリース
クールや不登校特例校などの
情報は周知徹底すべきではな
いか。

教育長 保護者同士の意見交

換会の実施については関係団
体と協議している。教育委員
会としても積極的に進めてま
いりたい。フリースクールな
どに関する情報は、宮城県や
仙台市から積極的に情報を取
り入れ周知してまいりたい。



倒壊の恐れのある空き家 (出典:国土交通省「空き家の現状と課題」)

学校教育課長 どの子ども不登校になり得ると認識している。子どもや保護者が悩みを相談できる場所を明確に示していく。学校のほか、コロナやオンラインでのつながりなどもあり、様々な居場所や学びの場の確保に努めることを平易な言葉で伝えてまいりたい。

空き家対策は

議員 空家等対策計画を今年度策定し、空き家に関する相談をワンストップで対応していくが、計画策定の進捗状況とワンストップ総合窓口の所

管部署はどこか伺う。今年3月の塩竈市空家等対策の推進に関する条例制定により、対応できる事案はあるか。空き家発生を予防するためのセミナーを市民向けに開催してはどうか。特定空家になる恐れがある物件を管理不全空き家とし今後新たに勧告することについて、その所有者へ直ちに周知すべきではないか。

総務部長 空家等対策計画は来年1月に計画案策定の予定である。ワンストップ総合窓口をどの部署に設置するかを検討し、専門的な相談にも対応できる窓口としたい。条例に基づいて協議会を設置し空家等対策計画を策定する体制が整い、崩落などの危険が迫る空き家に対しては最小限の応急措置が可能となった。空き家管理に関するセミナーは、県と協議し開催を検討してまいりたい。今後、管理不全空き家に勧告されると固定資産税の軽減措置対象外となることは、所有者にあらゆる方法で周知してまいりたい。

その他の質問項目

- ・ 子どもの家庭センターは
 - ・ 浦戸の振興は
 - ・ ほこみち制度は
- など



かいしん
志賀 勝

産業の再生と創生は

議員 ①基幹産業である水産業・水産加工業の現在の経済効果をどのように捉えているのか。今後の支援策及び成長戦略は。②塩釜水産物仲卸市場の今後については。

産業建設部長 ①現在の水揚げ金額は約100億円、水産加工品の出荷額は約485億円となっており、本市経済に



新しい市場づくりを目指す塩釜水産物仲卸市場

与える影響は大きいものであると認識している。②産業建設部の担当レベルの職員が入り、仲卸市場の皆様と膝を突き合わせてじっくりとした議論から加わりたいと考えている。

水産振興課長 ①これまで県の補助金などを活用しながら、加工事業者の皆様と共に新商品開発事業を複数年にわたり実施させていただいた。

EU・HACCP認定市場の優位性を活かし、東南アジアやヨーロッパなどへの輸出を、ジェットロ(日本貿易振興機構)や様々な事業者の協力を得ながら進めて行く。また、業界の皆様から凍結庫など共同で使用できる施設が必要との声を伺っている。整備の在り方などを含め、今後の水産業の進むべき道の一つとして検討させていただきたい。

みなとの再生は

議員 街のにぎわいや活気ある経済活動には、この街の特色である海辺と港の更なる有効利用が欠かせない。塩釜港の今後の方向性は、物流拠点

としての整備なのか、観光港としての整備なのか。また、港湾整備は、国や県との協議が必須条件となるが国や県は、塩釜港をどのように見ているのか。

市長 観光港としての機能を強化していくべきだろうという思いがある。また、海上保安部の拠点港としての役割や、勢いがある仙台港区を補完する役割のほうが良いのではという考え方もあり、しっかりとたたき台を作り上げて、県の港湾計画の中に塩竈市の思いを組み込めるよう伝えていきたい。これまで無かったことであるが、国土交通省東北地方整備局長が塩釜港を視察いただいたところであり、塩釜港区の在り方など広範囲に意見交換を行い、貴重なアドバイスを頂戴した。

国の協力と県の理解が無ければ港湾の開発はあり得ないので、本市としての塩釜港区に対する思いを強く発信していくことが重要と感じている。

その他の質問項目

- ・ 入札・契約手続の適正化は
 - ・ 補助金の外部監査は
 - ・ 空き家の増加は
- など

施政方針に対する質問

議案等賛否一覧表

○：議案等に対して賛成 棄：棄権 ×：議案等に対して反対 /：議長は採決に加わりません

Table with columns for 会議名, 会派名・議員氏名, and various political parties (日本共産党塩釜市議団, 市民クラブ, 塩釜を元気にする会, 公明党, かいしん). Rows list various resolutions and motions, such as '認定第1号' through '認定第67号' and '議案第50号' through '議案第67号'.

※可否同数のため、地方自治法の規定により議長が決するところとなり、修正案は否決し原案は可決と決しました。

次
の
人
事
案件
に
同
意
し
ま
し
た。
○ 監査委員の選任について 菅原靖彦氏
○ 教育委員会の委員の任命について 松田攝子氏

年賀状などの挨拶禁止について
公職選挙法の規定により、議員は選挙区内で、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状を出すことが禁止されております。
市民の皆様のご理解をお願いいたします。
塩竈市議会議員一同

議会報編集委員会
委員長 志子田 吉晃
副委員長 小高 洋
委員 佐藤 公男
委員 菅原 幸男
委員 桑原 典幸
委員 土見 大介

8月27日に行われました市議会議員選挙において、市民の皆様からのご信託を受け、新たな体制で市議会だよりをお届けいたします。
選挙後初の9月定例会から、活発な質疑や討論が行われました。今後もごみ処理施設、市役所、市立病院などといった各施設の老朽化への対応や、人口減少問題など、数多くの問題に対処していく必要があり、それらの対処の手法について様々なご意見があるうかと思えます。今後も各議員が市民の皆様から頂戴いたしましたご意見を出し合いながら、より良い塩竈市となるよう、議論してまいります。

次回の定例会は
12月8日(金)
午後1時開会予定です
編集後記